

(公社) 神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 講師派遣事業報告  
平成 30 年度保健衛生研修に参加しました。  
講師担当 下田栄次

平成 31 年 2 月 4 日(月) 平塚保健福祉事務所秦野センターにて「平成 30 年保健衛生研修」の講師として「災害時のコミュニティにおける多職種連携マネジメント -福祉避難所、応急仮設住宅等の生活場面で-」をテーマに講義と演習を担当いたしました。

対象は、平塚市・秦野市・伊勢原市・大磯町・二宮町に在住・在勤の保健師、歯科衛生士、栄養士、在宅歯科衛生士、在宅栄養士、行政職、消防、防災関係職員等とし、30 名の方にご参加いただきました。

昨年度も同様の研修の講師を担当し、DIG(災害図上訓練)を通して、管内における大規模災害発生時、地域ではどのような被害が出るか、実際に各地区の防災マップを使用し、各グループがそれぞれ、現地災害対策本部を立ち上げたという想定のもと、被害想定を行い、医療救護活動および保健活動に必要な情報や調整事項について検討しました。

そこで今回は、被災者支援における多職種連携支援体制の構築を目的に、具体的な被害想定をもとに、管内の各地域ではどのような被害が出るのか、各地域における被災者の生活環境変化の特徴を検討しました。また事例検討として、保健福祉的トリアージを含めた生活場面の検討等の演習を行いました。被災者の生活の場となる、応急仮設住宅や福祉避難所等でのコミュニティマネジメントを通して、災害時の多職種連携支援について学びました。昨年度に引き続き、人口統計や各種オープンデータを活用し、ふだんの地域課題の抽出から、各地域に潜在化するリスクについて、さらに深く検討していきました。それぞれの専門職としての強みや得意なところを活かしながら情報共有する重要性を皆さんで学ぶことができました。ご参加いただいた皆さま本当にありがとうございました。

